


| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 事業者名 | 会社名：ANA ホールシングス株式会社 代表者職名・氏名：片野坂真哉 |
| 補助事業テーマ | 地域密着型教育プログラム「イノ旅」事業 ～Presented by D-matcha～ |
| 事業実施期間 | 令和2年10月12日～令和3年2月28日 |
| 事業の目的 | <ol style="list-style-type: none"> 1 京都府和束町における京都府和束町ならではの魅力・特徴を持つ企業とのタイアップによる次世代人材を育成する探究学習プログラムの企画設計 2 地域密着型探究学習のニーズ検討 |
| 事業の実績（成果） | <ol style="list-style-type: none"> 1 京都府和束町の事業者D-matcha株式会社様、一般社団法人京都山城地域振興社様、東京学芸大学大学院准教授小宮山様、一般社団法人 i.club 様などの有識者とともに現地視察と会議を重ね、和束町ならではの今までにない地域密着型教育プログラムの企画を実施。 将来的に地域で持続可能なプログラムとするため、地域の人が運営に活用できる役割分担表や運営表、指導用シラバス、プログラム用投影スライド、参加者のしおりなどの作成を行った。 1月初旬～2月にかけてのコロナウィルスによる外出自粛要請や政府の緊急事態宣言の発令などにより、2月1日～3日の当日プログラムの実施はやむなく中止となったが、京都府和束町でのプログラムについては来年度も実施を検討している。 2 緊急事態宣言禍であったにも関わらず、首都圏の私立中高生を中心に7名の申し込みがあった。過去イノ旅のリピーターも1名いた。 アンケート実施の結果、「VUCA 時代においては机上の学びよりも実践的な学びが必要」や「普段の社会科の授業だけでは地域への関心高めたり探究をしていくことが難しいため五感を使うイノ旅が必要だ」などのコメントを頂戴した。今後は、事前事後でオンラインを活用しコロナ禍でも実施可能な設計を検討したい。 <div data-bbox="467 1294 1337 1619" style="text-align: center;">  <p>(左) D-matcha 株式会社田中社長からのレクチャー風景 (右) 関係者有識者との打ち合わせ風景</p> </div> |
| 今後の展望 | <p>既存の修学旅行の代替としての可能性はもちろんのこと、総合的な学習における探究学習での活用、海外研修の代替としての展開など、旅を通じた教育における市場可能性があると感じている。</p> <p>また、今回和束町で実施したように、京都府内他のエリアでも同様のプログラム開発が可能であるため、視野に入れて実施していきたい。</p> <p>コロナ環境下においても実施が可能な事前事後でのオンラインの活用なども今後検討していく。</p> |